

この春、みさき公園の動物園が大充実

「ビーバー」「カワウソ」「ミーアキャット」の獣舎をリニューアル！
ナマケモノの展示を再開！

南海電鉄（社長：亘 信二）が経営する「みさき公園」（園長：吉本昌史）では、動物園内の見所を増やし、これまで以上にお客さまに動物園巡りを楽しんでいただくため、下記の取り組みを行いました。

1. 「アメリカビーバー」「コツメカワウソ」「ミーアキャット」の獣舎をリニューアル

動物の生態をより興味深く観察していただくため、それぞれの動物が本来生息している環境をイメージした獣舎にリニューアルしました。さらに、透明なガラスを獣舎の囲いに使用することで、小さなお子さまも動物の様子を観察できるようにするとともに、陸上だけでなく水中を動き回るアメリカビーバーとコツメカワウソの様子もご覧いただけるようにしました。

2. 「フタユビナマケモノ」の展示を再開！

同園では、昨年7月にメスのフタユビナマケモノが亡くなって以来、ナマケモノ舎が空き舎となっていました。そしてこの度、再びフタユビナマケモノが同園の仲間となり、展示を再開します。ゆったりとした動きが可愛いナマケモノの姿を、ぜひご覧ください。

この度の獣舎リニューアルは、“動物を身近に感じてもらう”という同園が開園当時から掲げている「自然動物園」のコンセプトに基づいて実施したものです。なお、動物園ゾーンでの獣舎の大幅なリニューアルは平成17年のツキノワグマ舎以来5年ぶりです。

詳細は次ページのとおりです。



水中の動きもご覧いただけるようになった新アメリカビーバー舎

1. 新獣舎について

(1) 公開日

平成22年4月29日(木)

(2) 特 徴

3つの新獣舎は、それぞれの動物が生息している環境をイメージしています。さらに、透明なガラスを獣舎の囲いに使用することで、小さなお子さまの目線から動物の様子を観察できるようにするとともに、動物たちの水中での様子も観察できるようにしました。

アメリカビーバー舎

ビーバーが巣を作るために築いたダム湖と、その周辺の湿地をイメージしています。

巣の中のビーバーを観察することができます。

水中を泳ぐビーバーを観察することができます。

コツメカワウソ舎

植栽を多く利用して、カワウソが生息する湿地をイメージしています。

滝や滝つぼを作り水位に変化をつけることで、カワウソの様々なしぐさを誘発する仕組みを作りました。

水中を泳ぐカワウソを観察することができます。

ミーアキャット舎

ミーアキャットが生息地であるサバンナで蟻塚に巣を作った状態を再現しました。

高い蟻塚をつくることで、ミーアキャットの習性である日光浴をより観察しやすくしました。

2. フタユビナマケモノ展示再開について

(1) 公開日

平成22年4月29日(木)

(2) フタユビナマケモノの展示について

同園では、昨年7月にメスのフタユビナマケモノが亡くなって以来、ナマケモノ舎が空き舎となっていました。この度、2頭(オス・メス1頭ずつ)のフタユビナマケモノを飼育し、ナマケモノ展示を再開するに至りました。

3. お客さまのお問い合わせ先

みさき公園 TEL: 072-492-1005

以 上